

## 9月12日のウクライナ情報 + α

安齋育郎

### ●映画「長崎の郵便配達」予告編(2022年8月27日)

※安齋注: **ウクライナ戦争とは直接関係ない**けど、わが友人だった谷口稜暉(たにぐち・すみてる)さんの物語が映画化されたのでお知らせします。被爆者とイギリス空軍元大佐の交流、そして娘の追体験が描かれています。谷口さんは2017年7月7日に国連で核兵器禁止条約が採択された翌月(2017年8月30日)に亡くなりました。

[https://www.youtube.com/watch?v=APvDM\\_TewGg](https://www.youtube.com/watch?v=APvDM_TewGg)

### ●ドラマ「無言館」(2022年9月公開)

※安齋注: **これもウクライナ戦争とは関係ありません**が、私が理事を務める「戦没画学生慰霊美術館・無言館」を描いたドラマです。この「ウクライナ情報」の読者も何人も見たと言ってくれましたので、まだ見ていない人のために「24時間テレビ45スペシャルドラマ『無言館』」を送ります。

<https://www.hulu.jp/watch/100121578>

【監督・脚本 劇団ひとり】×【主演 浅野忠信】の実力派タッグで織りなす、実話に基づく涙のヒューマンストーリー! 戦地に赴き亡くなった若き画学生の絵を集めた美術館「無言館」。そんな「無言館」設立のため、全国を奔走した男の実話。『あと10分、あと5分でいいから描かせてくれ…』そう言って、戦争に向かう直前まで絵を描き続けていた画学生。生きて帰って来られないかもしれない。そのとき彼らが描いていたのは、故郷や家族、愛する女性など穏やかな絵ばかり。絵を描きたくてまらぬ。戦争に奪われた思いを取り返そうと、主人公・窪島誠一郎(浅野忠信)は、彼らの絵を集めた美術館設立を目指す。そんな彼らの絵には、秘められた思いや知られざる物語があった…。戦後50年の時を経て、恋人との再会を果たすとき、感動の涙に包まれる。

### ●ゼレンスキー大統領、露の軍事拠点イジュームなどの奪還を宣言…東部ハルキウ州反転攻勢で(2022年9月12日)

<https://www.msn.com/ja-jp/news/world/%E3%82%BC%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%BC%E5%A4%A7%E7%B5%B1%E9%A0%98-%E9%9C%B2%E3%81%AE%E8%BB%8D%E4%BA%8B%E6%8B%A0%E7%82%B9%E3%82%A4%E3%82%B8%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%81%AA%E3%81%A9%E3%81%AE%E5%A5%AA%E9%82%84%E3%82%92%E5%AE%A3%E8%A8%80-%E6%9D%B1%E9%83%A8%E3%83%8F%E3%83%AB%E3%82%AD%E3%82%A6%E5%B7%9E%E5%8F%8D%E8%BB%A2%E6%94%BB%E5%8B%A2%E3%81%A7/ar-AA11ImYr?ocid=msedgntp&cvid=715de09d315f465fb978c0f335185389>

【キーウ=梁田真樹子】ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は11日のビデオ演説で、ウクライナ軍が東部ハルキウ州の反転攻勢で、露軍が占領下で軍事拠点にしていたイジュームなどを奪還したと宣言した。ウクライナの大統領府顧問は11日、露軍が報復としてハルキウ州の火力発電所など重要施設を攻撃し、大規模停電を起こしたと非難した。



●大西広著『ウクライナ戦争と分断される世界』(本の泉社、2022年9月9日)

【宣伝文】ウクライナ侵攻に対して、ロシアに対する経済制裁への同調国は 36 개국、同調しなかった国は 145 개국。その一方、ロシア侵攻直後に開催された国連総会で採決された撤退要求決議では 4 개국(ベラルーシ、シリア、エリトリア、北朝鮮)以外、すべて賛成ないし棄権している。「アジア、アフリカ、ラテンアメリカ地域が判断に迷いつつ、独自の判断をしていることがわかる」「ロシアの侵攻は許されない、が、それを機に西側が結束して自分たちに悪徳がなかったように主張することに同調していいものかどうか、という迷いではなからうか」「はじめに」より)。著者は今回のウクライナ危機で、底流にくすぶっていた「南北問題」が表面化したと捉え、問題の本質に鋭く切り込む。



大西 広(おおにし ひろし)=1956 年生まれ。慶應義塾大学名誉教授、京都大学名誉教授、日中友好協会副理事長、World Association for Political Economy 副会長、北東アジア学会元会長。京都大学大学院修了、経済学博士。

著書・編著に『資本主義以前の「社会主義」と資本主義最後の社会主義』『中国経済の数量分析』『チベット問題とは何か』『中国の少数民族問題と経済格差』『中国に主張すべきは何か』『マルクス主義と長期法則』『マルクス派数理政治経済学』など。